

2025年12月23日

各位

上場会社名　　日本製罐株式会社
 代表者　　代表取締役社長　　西尾 文隆
 　　　　　　(コード：5905、東証スタンダード)
 問合せ先責任者　　執行役員経理部長　田中 修二
 　　　　　　(TEL. 048-665-1257)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年12月22日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2025年4月30日に公表いたしました2026年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 12,372	百万円 134	百万円 165	百万円 122	円 銭 90.92
今回発表実績（B）	12,259	△318	△279	△267	△198.31
増減額（B-A）	△113	△452	△444	△389	
増減率（%）	△0.9	—	—	—	
（ご参考）前期実績 (2025年3月期)	11,259	△540	△476	△335	△249.91

(2) 2026年3月期個別業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,285	百万円 19	百万円 82	円 銭 61.11
今回発表実績（B）	5,859	△349	△288	△213.91
増減額（B-A）	△426	△368	△370	
増減率（%）	△6.8	—	—	
（ご参考）前期実績 (2025年3月期)	5,606	△528	△317	△236.78

2. 差異の理由

(1) 連結業績

当期におきましては、前期に実施した減損処理及び千葉工場閉鎖を含む構造改革の効果発現を見込み、収益改善を計画しておりました。しかし、効果が発現するまでに想定以上の時間がかかり、コスト削減が見込みを下回ったことによる売上利益率の低下、また、販売面におきましては市場環境が引き続き厳しい中、販売数量が当初の想定を下回る見込みとなりました。

なお、構造改革は着実に進展しており、生産体制の集約による効率化や固定費削減効果は今後段階的に実現化していくものと考えております。

(2) 個別業績

上記の理由によるものとなります。

当社と致しましては、引き続き収益基盤の強化と持続的な成長に向けた取組みを推進してまいります。

以上